

議題 3 『健診当日の特定保健指導の推進』

特定保健指導とは？

「特定保健指導とは、脳卒中や心筋梗塞など命にかかわる重大な状態につながる **メタボリックシンドローム**を予防するため生活習慣を見直す取り組みです。」

※メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪の蓄積により 高血圧・高血糖・脂質異常などを引き起こす状態をいいます。

健診の結果に基づき、下記の基準により対象者を判定します

[判定順序]

	追加リスク				対象	
	①血糖	②脂質	③血圧	④喫煙歴	40 - 64歳	65 - 74歳
腹囲 ≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当			/	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当			あり		
				なし		
上記以外で BMI ≥ 25kg/m ²	3つ該当			/	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当			あり		
				なし		
1つ該当			/			

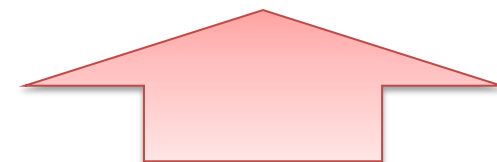
追加リスクの基準

- ①血糖：空腹時血糖 100mg/dl 以上またはHdA1c(NGSP) 5.6% 以上
- ②脂質：中性脂肪 150mg/dl 以上またはHDLコレステロール 40mg/dl 未満
- ③血圧：収縮期血圧 130mmHg 以上または拡張期血圧 85mmHg 以上

※「腹囲基準またはBMI基準以上」かつ「血圧リスクあり」かつ「服薬なし」の者は当日選定できる

第3期の特定健診・保健指導の保険者全体の目標

項目		<第1期> H24年度目標 全体	<第2期> H29年度目標 全体	<第2期> H29年度目標 協会けんぽ	H26年度実績 全体	<第3期> H35年度目標 全体	H26年度実績 協会けんぽ	<第3期> H35年度目標 協会けんぽ
実施に関する目標	① 特定健診 実施率	70%以上	70%以上	65%以上	48.6%	70%以上	43.4%	65%以上 1.44倍
	② 特定保健指導 実施率	45%以上	45%以上	30%以上	17.8%	45%以上	14.8%	35%以上 約2.53倍



「特定健診・指導のあり方検討会」
毎年度及び期毎に見直しを行い、実際の指導とのすり合わせて、目標とのかい離を是正

- ・ 健診項目（CKD等）の見直し
- ・ 支援A・B要件の廃止
- ・ 委託要件の緩和（継続支援の委託可、ICT導入など）

・ 第3期
→ 目標達成のため、大幅な見直し

この10年...

中小企業で仕事の
合間に保健指導を
するのは無理！

リピーターは難しい。
互いにつらい...

必要なポイントを
積むための保健
指導になって
しまっている

無関心層の人は
利用しない

6か月間
続かない



特定保健指導を最大限に推進するために（委託分）

「健診当日の保健指導」を確実に実施する

- 中小企業に働く方々が、健診後日に改めて保健指導を受けるために健診機関に出向いてくることは難しい。
また、協会けんぽからの訪問面談の時間を作るのも大変
- 中小企業に働く方々にとっては、健診日が健康について振り返る最大のチャンス
- 健診機関だからこそできること・・・それは、健診の機会を利用した「健康づくり」



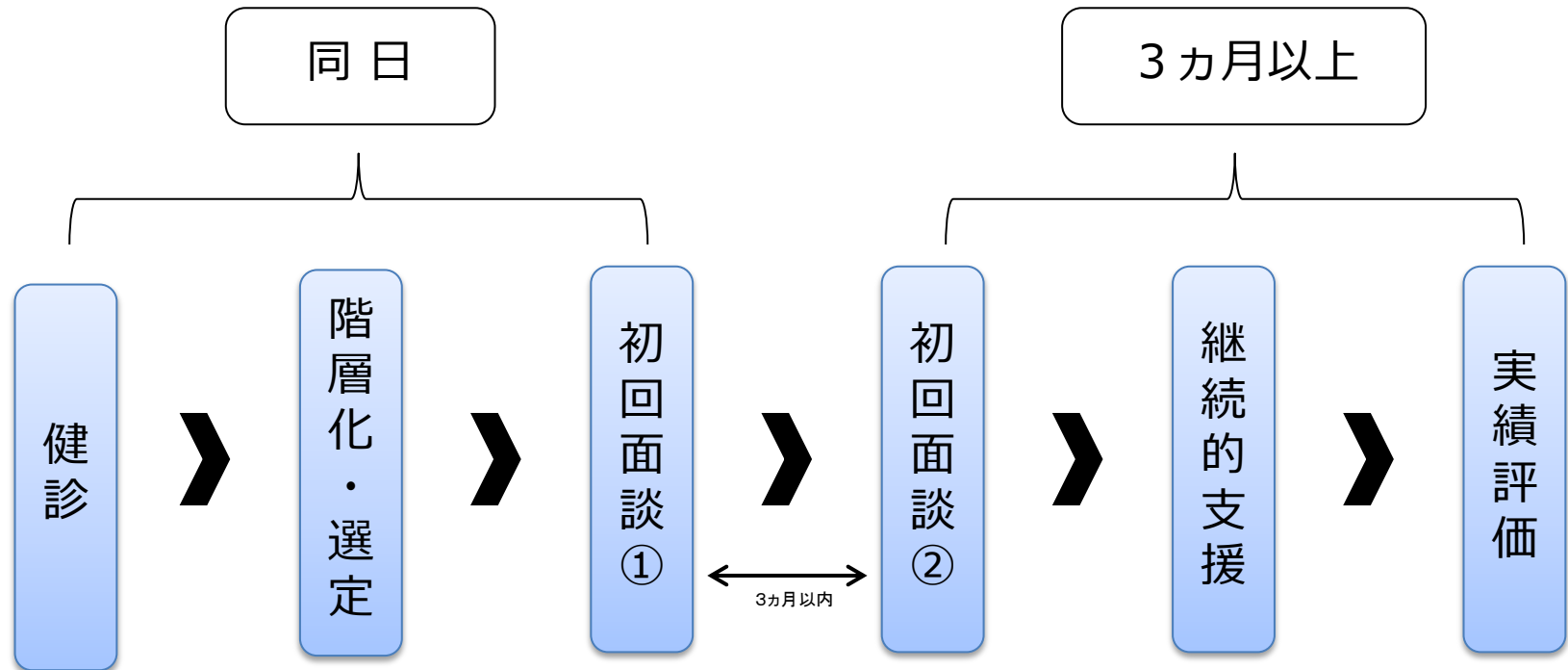
平成30年度から「初回面談の分割実施」が可能になり、実現できるようになった！

健診当日の保健指導・初回面談の分割実施とは？

【概要】

- 健診当日に検査結果が全て揃わない場合であっても、腹囲・体重・血圧・喫煙歴等の状況から、特定保健指導の対象見込み者を選定し、初回面談①（暫定的な行動計画の策定）を実施する。
- 検査結果が全て揃った後、電話等により初回面談②（行動計画の修正・完成）を実施する。
- 行動計画の実績評価は、積極的支援と動機付け支援ともに行動計画の策定が完了する初回面談②から起算して3カ月経過後とする。

当日実施から実績評価までの流れ



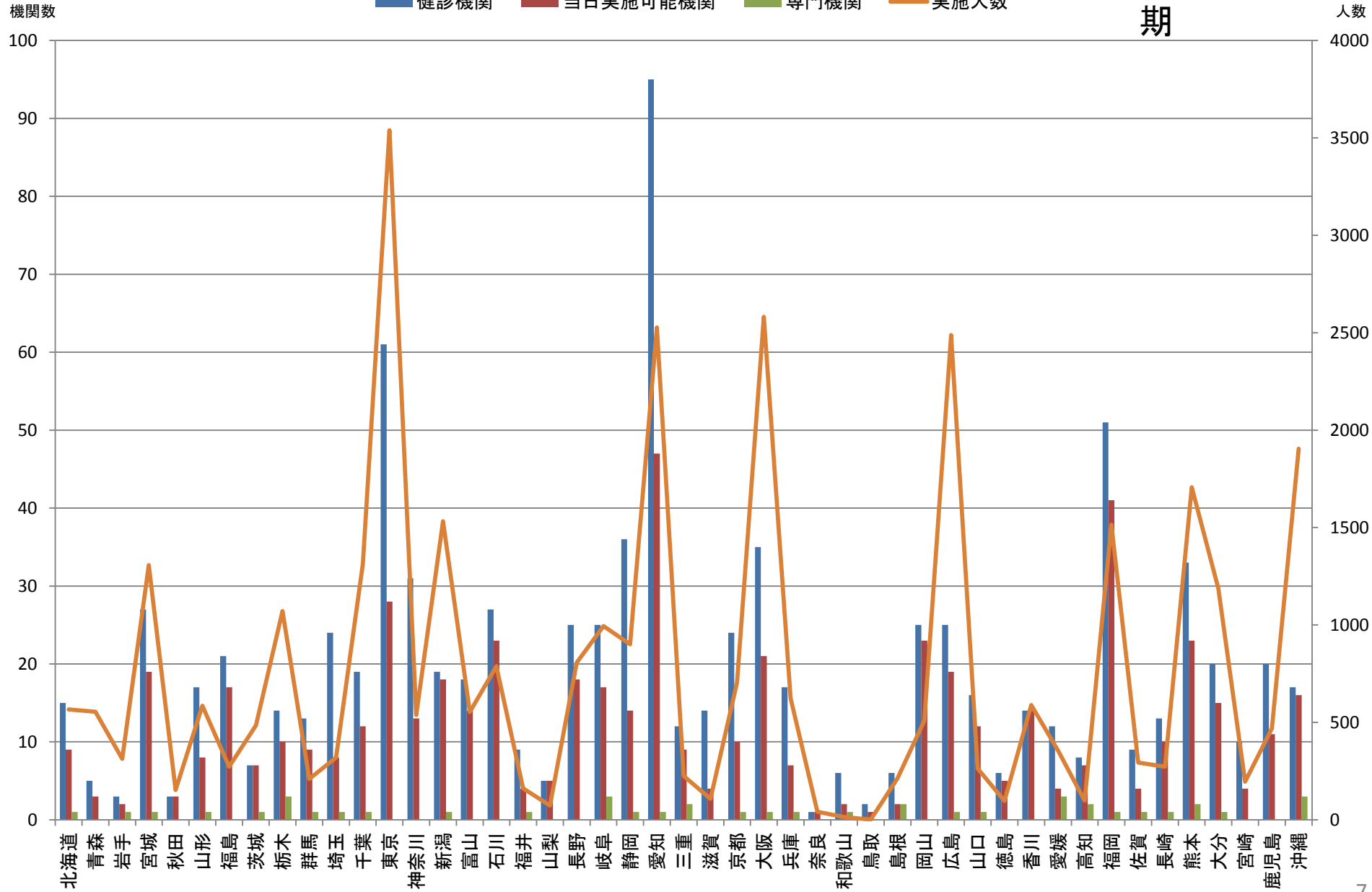
階層化・選定について

- ・ 階層化レベルの確定は不要
- ・ 「腹囲基準またはBMI基準以上」かつ「血圧リスクあり」かつ「服薬なし」の者を選定すれば、少なくとも特定保健指導対象者の約6割に初回面談①を実施可能（健診受診者の12%程度） ※ 平成26年度習慣病予防健診データより算出

保健指導委託機関数と実施人数

29年
度上
期

■ 健診機関 ■ 当日実施可能機関 ■ 専門機関 ■ 実施人数



委託機関別実施状況

		H28 (実績)	H29 (計画)	H29 (実績)	H30 (計画)	H30 (実績) 8月末現在
委託機関 A	初回	85		249	500	105
	評価	46	675	120	451	16
委託機関 B	初回	1			800	5
	評価	5	30	1	660	0
委託機関 C	初回	624		724	1,328	213
	評価	386	828	419	721	37
総計	初回	710		970	2,628	323
	評価	437	1,533	540	1,832	53

※委託機関A・Bは当日実施可能機関、委託機関Cは後日協会から委託している機関

今後の課題

1. 健診機関の課題

- 契約健診機関が少ない（実施機関の拡大が必要）

※ 実施形態は下記の3種類 いずれも契約機関が少ない

- ① 健診当日実施 ② 後日来所実施 ③ 後日事業所への訪問実施

【岩手支部の対策】

実施機関会議等の際に、健診機関に費用等のシュミレーション結果の提示やアンケートを実施

2. 当日実施の現場での課題（契約健診機関より）

- 当日、面談の声掛けをしても、健診終了後に仕事に行くために時間がないと断られる（事業所の理解が必要）

- 対象者が複数いる場合、待ち時間が発生することもあり断られる

【岩手支部の対策】

マンパワーの拡大の依頼